

ウィーン式フォルテピアノ J. A. シュタイン
【1788年頃の復元楽器 /
ヅッカーマン - 新井千笑製作, 2023年】

タンゲンテンフリューゲル
シュペート&シュマール工房 1790年頃
(久保田彰復元, 2025年)



2025.

8/8

Fri. 18:15開場 19:00開演

とくべつ きかく
なつやすみ特別企画！
18:30～ プレトーク
フォルテピアノってなあに？
さっきょくか いま
作曲家たちは今のピアノを
きいたことがない！？
おとな たの
こどもも大人も楽しめる
れきし
ピアノの歴史について！

J. S. バッハ：イギリス組曲 第5番 ホ短調 BWV 810

C. P. E. バッハ：

《識者と愛好家のためのクラヴィーアソナタ、
自由なファンタジー、ロンド》第6集より
ファンタジア第2番 ハ長調 Wq. 61/6

W. A. モーツァルト：

クラヴィーアソナタ 第6番 「デュルニッツ」ニ長調 KV 284

J. N. フンメル：ピアノソナタ 第3番 ヘ短調 Op. 20

L. v. ベートーヴェン：

ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op. 27-2 「月光」

チケット 全自由席

一般 3,000円 学生 2,000円

小中学生 大人1名につき2名まで入場無料(要申込)

チケット取扱い

teket <https://teket.jp/14151/50543>



teket

【助成】一般財団法人 後藤成之輔・美智子 世の中に貢献する人を育てる協会

【協力】新井千笑、久保田チェンバロ工房、クラヴサン工房アダチ

【後援】愛知県立芸術大学音楽学部同窓会、東京芸術大学音楽学部同窓会、

名古屋市立菊里高等学校音楽科同窓会

【お問い合わせ】 090-1788-4751 (木村)

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

地下鉄「伏見」駅 4番出口から東へ徒歩2分

木村彩乃フォルテピアノリサイタル
当時の音色で奏でる前古典派から初期ロマン派の世界
〜シュタインとタンゲンテンフリューゲルを迎えて〜



誰もが目にしたことのある楽器、ピアノ。

それは、はじめから今日知られる黒くて大きく頑丈な楽器であったわけではありません。

モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトやショパンといった作曲家たちは、今のピアノの姿は知らなかったのです。

ピアノは、1700年頃フィレンツェのバルトロメオ・クリストーフォリによって発明され、その後時代の風潮、あるいはピアノ製作の職人ごとに、さまざまな変化が加えられていきました。当時のピアノ（フォルテピアノ）は、『ハンマーが弦を叩くことで音が鳴る』、という音を鳴らす「方法」については今のピアノと変わりませんが、鍵盤を押してから音が鳴るまでの「仕組み」、弦の張り方などの「構造」、そしてハンマーや弦の「素材」が異なりました。当然音色や響きも、今は違いました。

作曲家たちが聴いていたフォルテピアノで演奏すると、今のピアノで弾いた時には気がつかなかった魅力に出会うことがあり、彼らがこの音色に触れていたがゆえに生まれた音楽・表現に、心を突き動かされます。作曲家の生きた時代の音で紡がれる音楽、当時へ想いを巡らせながらどうぞお楽しみください。



木村彩乃 フォルテピアノ

名古屋市出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部を桑原賞を受賞し、首席で卒業。東京藝術大学大学院修士課程器楽科古楽研究分野修了。R. シューマンの作品と、彼が好んで使用したウィーン式フォルテピアノの関連性についての研究をしている。

2022、2023年度山田貞夫音楽財団奨学生。

György Nádor、故Jean Jacques Balet、宇山＝ブヴァール・康子の各氏によるマスタークラス、川口成彦、七條恵子、Olga Pashchenko、Piet Kuijken、Daria Fadeevaの各氏によるレッスンを受講。大学在学時には、大学院オペラの稽古ピアニストを務め、マエストロ佐藤正浩、コレペティトゥア山本敦子の各氏より指導を賜る。

これまでにピアノを宮田淳子、宮田俊雄、桑野郁子、藤井博子、上野栄美子、中尾純の各氏、音楽学を井上さつき、安原雅之、東谷護の各氏、ソルフェージュと作曲を上田真樹氏、フォルテピアノを小倉貴久子、平井千絵の各氏、通奏低音とチェンバロを戸崎廣乃、廣澤麻美の各氏に師事。

2025年秋より、オランダのアムステルダム音楽院修士課程へ留学予定。



ウィーン式フォルテピアノ
主にドイツ語圏の地域で製作されたピアノ。現在のピアノとは音を鳴らす仕組みの部分の構造が異なる。今回使用するシュタインは、ウィーン式フォルテピアノの祖と言われ、モーツァルトが彼の父にシュタインの楽器を絶賛する手紙を送ったことでも知られる。



タンゲンテンフリューゲル
鍵盤を押さえると、木片が弦に向かって飛ばされて音が鳴る仕組みを持つ。ハンマーで弦をたたいて音を鳴らすピアノとも、ツメで弦をはじくチェンバロとも異なる。1717年にJ. S. バッハの友人Ch.G. シュレーターが発明したという説がある。また、モーツァルトのザルツブルクの自宅には、今回使用するシュベートによるものがあったことが知られている。

この演奏会は「(一財)後藤欣之輔・美智子世の中に貢献する人を育てる協会」からの助成を得て行われます。この財団は、後藤欣之輔・美智子ご夫妻のご遺志に基づき、そのご浄財により芸術、医療、科学等により世の中に貢献することを志した者の留学、研究等の支援、及び芸術、医療、科学等により世の中に貢献したものの栄誉を称え、さらに発展させるための支援を行うことを目的としています。

会場のご案内

ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

東山線・鶴舞線「伏見駅」4番出口より東へ徒歩2分

〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-5
TEL: 052-204-1133

